

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこふる			
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児・活動に関して 子ども達がにこふるのことが好きである。 個別の活動と小集団での活動をその子に応じて提供出来る。 子ども達の意見を積極的に取り入れている。	好きなことや興味の有無、特徴を把握しており、ニーズに合わせて対応している。	今後も様々な活動を提供していく。子ども達の経験の豊かさに繋げていく。 活動に参加しやすいよう選択肢を与えたり、配慮を行ったりする。
2	事業所に関して 開かれた事業所である。 新しい事業所である為、色々な「色」になれる。 保育園との連携を積極的に行っている。	地域交流のイベントがある。 「してみたいこと」を積極的に取り入れ、冒険・成功・失敗を繰り返し事業所を作り上げていっている。 保育園見学や送迎時の連携などを積極的に行い、保育園での困りや支援についても確認やアドバイスを行っている。	継続して地域交流や園庭解放を行っていく。 SNSの活用や事業所の周知活動も行っていく。 「してみたいこと」を積極的に取り入れていく。 保育園との移行会議やモニタリングの聞き取り。
3	職員に関して 人生経験が役立っている。職員のそれぞれの強みを発揮できている。	スタッフの様々な人生経験が生かされるよう、活動に反映させている。(調理や野菜の栽培、制作活動など) 職員の立ち位置やアイコンタクト、コミュニケーション。	とにかくコミュニケーションをとり、職員それぞれの強みを活かせるような事業所にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員のスキルアップ。	職員によって経験年数やスキルが違うので対応の差がある時がある。	先輩職員からの指導やアドバイス。 研修の実施。 意欲的になれる職場の雰囲気づくり。 他事業所の見学。 普段からの職員間でのコミュニケーション連携。
2	環境面の調整。	環境の構造化や環境設備。	分かりやすい視覚化。 物の配置。 パーテーションの使用。
3	生活スキルの向上に関する支援。(排泄や食事、着替え等)	放課後等デイサービスと比べ、サービス提供時間が短い為。	保育園や家庭での状況を詳しく聞き取り、アセスメントを実施する。アセスメントを基に手先を使う活動を提供したり、必要な配慮や支援を伝えていく。 土曜営業の際は食事の活動を提供したり、着替えや排泄の支援を行う。